



5

# さい にじぐみ にんじゃやしき 「レインボー城チーム」

担任：柴田伊純



作品展に向け、1学期から盛り上がっていた標識を取り入れたものを作りたいという意見と忍者屋敷を作りたいという意見がでました。話し合いの中で「忍者屋敷の中に標識を入れる?」「でも、忍者屋敷に“赤”“青”“黄色”の標識ってあったっけ?」「あったら変だよな・・・」という会話があり、「標識のある街」と「忍者屋敷」という2つに絞られました。後日、いつものように話し合いが始まると、1人の子が手を挙げ、「忍者屋敷に、“標識”に似ているもので、お知らせをする“立て札”っていうのがあったんだよな!」「じゃあ、標識ではなくて、立て札で伝えたいことをお知らせすればいいのかもね!」「そしたら両方出来るね!」という話になり、忍者屋敷に決まりました。



グループで城の形を決め、どんな色の城にするかを話し合いました。虹組が作る城「レインボー城」。色々な色を入れ、小さい子も楽しめるようなトンネルのある城作りを目指しました。大型積み木の形を組み合わせると土台作りです。机や積み木を使うことも子ども達で決めました。

色画用紙を貼っていく中、「積み木が大きくて、画用紙が足りない」ということが・・・。隙間を紙をちぎり、埋めていましたが、貼る形に合わせて型を取れば良いということに気付いたようです。



段ボールを机のサイズに切り、色を塗りました。いざ、組み立てると城らしさが足りない!?! 城の写真を見直すと、城の下には石垣があることに気が付き、石を付けることにしました。



「城の中は暗闇」という話でしたが、いざ作ると、「暗いと、小さい子が怖くて泣いてしまうかも」と心配していました。ルミカやLEDライトを付け、明るいほうを選び、クラスみんなで作った手裏剣を中に貼りました。「これなら、怖くないね」と満足した表情を浮かべていました。





# さい うみぐみ



## 「回転ずしを作ろう！！」 担任:石澤 綾子

海組でどんな食べ物屋さんを作るか相談した時の事。アイス、パフェ、おすし、そば、お菓子...色々なものが作りたくてわくわくしている子ども達。なかなか決まらずにいる中「回転ずしなら色々あるよ！」との声に皆が納得し、回転ずし屋さん作りをすることになりました。すし、パフェ、回転テーブルの3チームに分かれ、力を合わせて作った「おだずし」でぜひ美味しいあ寿司を召し上がれ！



「すしチーム」みんなで食べた事のあるすしネタを相談し、すしネタをフェルトを切って作りました。「わたしはマグロを切りたい！」「僕玉子食べなくなっちゃった〜」など作りながらおしゃべりも楽しんでいました。イクラやえび、海苔巻きはまるで本物みたいに出て上がり「なんだかお腹が空いてきた...」と話していた寿司チームの子ども達です。

「パフェチーム」おすしチームがおすしを作っているのを見て、「私達も早く作りたい〜」「いつ作る？」と楽しみが止まらなかったパフェチーム。「何を入れようかなー？」と具材を選ぶ姿は真剣そのもの！「アイスはいちご！」「チョコも！」など本当に食べられるわけではないけれど(笑)自分の好きな材料を一生懸命選び、美味しそうなパフェをつくっていきました。



「回転テーブルチーム」「ちょっとそこ気を付けて！」「線からはみださないでよ〜！」「順番で文字を書いていこう！1番は僕ね」力を合わせたり、声を掛け合ったりしながら作っていきました。看板は失敗しないように慎重に文字を書いていきます。素敵なテーブルと看板が出来ました！

おだずし  
開店！

